

事業シート (概要説明書)

事務事業名	せん定枝リサイクルプラント事業	事業開始年度	平成13年度	
根拠法令	安城市せん定枝リサイクルプラント設置及び管理に関する条例 安城市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例4条	担当部名	環境部	
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	担当課・係名	ごみゼロ推進課	
市長マニフェスト	<input type="checkbox"/> 該当する <input checked="" type="checkbox"/> 該当しない	作成責任者	沓名 勉	
事業概要	実施の背景	①近年環境問題が社会的に大きく取り上げられている中で、各種資源の有効利用やリサイクル化が強く要請されている。果樹や街路樹のせん定枝の処理方法について見直し、環境保全型農業を目指す。せん定枝等未利用資源を堆肥化し農地などに還元することで、環境にやさしい土づくりの実現をする。 ②大量に搬出される、家庭からのせん定枝、果樹園、街路樹などのせん定枝を燃やせるゴミとすることなく、堆肥としてリサイクルし、燃やせるゴミの減量をし、焼却施設の延命化等を図り、また、焼却ゴミの処理費用の減額を図る。		
	目的 (何をどうしたいか)	①農業経営を行う市民や園芸を楽しむ市民が堆肥を利用した農業・園芸を行うことができるようになる。 ②大量のせん定枝を焼却することなく、堆肥化することによりゴミの減量を図る。		
	対象 (誰・何を対象に)	①農業経営を行う市民及び園芸を楽しむ市民 ②せん定枝をごみとして出す市民 ③市内から発生するせん定枝を取扱う業者	対象者数 (全市民に対する割合) 14,360 人 (7.87 %)	
	実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		
		<input checked="" type="checkbox"/> 業務委託 又は <input type="checkbox"/> 指定管理 (委託先又は指定管理者: 安城市施設管理協会)		
<input type="checkbox"/> 補助金 [直接・間接] (補助先: 実施主体:)				
<input type="checkbox"/> 貸付 (貸付先:) <input type="checkbox"/> その他 ()				
事業内容 (手段、手法など市民にわかりやすく説明する) ※当該事業以下に中・小事業がある場合は、事業費とともに記載	1. 対象物 市内から出た果樹(梨、いちじくなど)、庭木、街路樹のせん定枝等 2. 処理方法 破砕機、植繊機により破砕後空気と水だけで6カ月間自然発酵させ、堆肥化。堆肥、土壌改良剤として有効利用。 3. 施設 処理能力 4.8t/日 敷地面積 4,812㎡ 建物 管理棟1棟279㎡、発酵場2棟553㎡、一次破砕機1基、二次破砕機1基、トラックスケール式 4. 利用日 月曜日から土曜日(年末年始除く) 8時30分~12時、13時~16時45分 5. 利用対象者及びせん定枝処理手数料 (1) 市民(市内に住所を有する人) 50円/10kg (2) 市内から発生するせん定枝の取扱を行う造園業者及び果樹業者 60円/10kg ※1回の搬入量が30kg未満の場合は無料 6. 堆肥の支給 (H24堆肥配布量1,066トン) 主に野菜や果樹を栽培している農家へ無料支給。趣味の園芸、家庭菜園を楽しんでおられる市民に無料配布。年2回程度(春・秋)に支給日を設定し、「広報あんじょう」でお知らせ。 300kg/1世帯まで 7. 木チップの製造、配布 (公園の植栽帯等への供給) 8. せん定枝リサイクルプラント搬入量 (H24) 2,369トン			
関連事業 (同一目的事業等)				

事業シート (概要説明書)

事務事業名		せん定枝リサイクルプラント事業				事業開始年度		平成13年度	
		25年度 (予算)		24年度 (決算見込み)		23年度 (決算)		22年度 (決算)	
コスト	事業費合計	55,097 千円		389,157 千円		38,451 千円		38,451 千円	
	事業費内訳 (平成24年度分)	せん定枝リサイクルプラント管理業務委託 28,268,393円 消耗品費 7,550,564円 修繕料 4,898,312円 中間処理施設用地取得 341,838,856円							
	人件費	2.7 人	20,331 千円	2.7 人	20,331 千円	2.7 人	20,331 千円	2.7 人	20,331 千円
	総事業費	75,428 千円		409,488 千円		58,782 千円		58,782 千円	
財源 内訳	国県支出金	千円		千円		千円		千円	
		国県支出金の内容							
	地方債	千円		千円		千円		千円	
	その他特財	11,400 千円		13,189 千円		12,030 千円		12,953 千円	
		その他特財の内容 せん定枝等処理手数料							
	一般財源	64,028 千円		396,299 千円		46,752 千円		45,829 千円	
	財源合計	75,428 千円		409,488 千円		58,782 千円		58,782 千円	
事業実績	活動実績	【活動指標名】			単位	H24年度	H23年度	H22年度	
		せん定枝処理量			トン	1,365	1,545	1,500	
		堆肥配布量			トン	1,066	1,040	1,078	
	単位当たりコスト	総事業費	／	せん定枝処理量	千円/トン	50	38	39	
			／						
事業成果	成果目標 (指標設定理由等)	堆肥配布量 (市内農業及び家庭での土作りへの貢献度の尺度) 処理されたせん定枝量 (可燃ごみのリサイクルへの貢献度の尺度)							
	成果指標	【成果指標名】			単位	H24年度	H23年度	H22年度	
		せん定枝処理			トン	1,365	1,545	1,500	
		堆肥配布量			トン	1,066	1,040	1,078	
事業の自己評価 (今後の事業の方向性、課題等)	出来上がった堆肥を農家及び市民に提供することにより、環境にやさしい土作りの実現ができる。 また、ゴミ処理の面から見ると可燃ゴミ (1500トン) を焼却することなく、リサイクルできている。 処理コストは、焼却に比較して割高ではあるが、施設規模に制約がある中で、経常経費は固定的な面が強くコスト削減は容易でないが、今後は、事業費の低減を図りつつ、安定した運営に努めていく。								
比較参考値 (他自治体での類似事業の例など)	せん定枝リサイクルプラントのような施設はめずらしい施設だが、豊田市緑のリサイクルセンターでもせん定枝を受け入れている。豊田市緑のリサイクルセンターの処理量は26トン/日と安城市の5倍以上となっているが、草、食品残渣も受入れ、堆肥を製造しており、単純比較は難しい。								
特記事項 (事業の沿革等)									

委託・指定管理・補助 対象団体シート (概要説明書)

事務事業名	せん定枝リサイクルプラント		
団体名	安城市施設管理協会		
団体への支出根拠 (選定経過等、支出先の妥当性)	H13年度からの委託実績に基づき、せん定枝リサイクルプラントの管理業務のできる団体である。H24年度まで市の関係する11課と他の業務と合わせて一括で随意契約を締結している。平成25年度からは、補助金として対応している。		
委託・補助の名称	せん定枝リサイクルプラント管理	事業費	31,148 千円
委託・補助の概要説明	安城市せん定枝リサイクルプラントにおいて、せん定枝搬入搬出調整及び堆肥製造等を行っている。		
※以下、法律で財務諸表の公表が義務付けられている団体（出資比率50%以上の団体、社会福祉協議会等）については、必須記入。その他、必要と思われる場合に記入。			

当該事業の団体における収支状況 (平成24年度)	収入		支出	
	国からの財政支出金	千円		千円
	県からの財政支出金	千円		千円
	市町村からの財政支出金	千円		千円
		千円		千円
	補助金	千円		千円
	その他	千円		千円
	その他 ()	千円		千円
総計	千円	総計	千円	

※委託料は設計ベースのため、収入と一致しない場合あり。

団体概要	資本金	千円	役員	(単位:人)	常勤	うち (出向/OB)	非常勤	うち (出向/OB)	監事	うち (出向/OB)
	市出資金	千円		役員						
	出資比率	%		職員						

団体全体の収支状況	収入		支出	
	国からの財政支出金	千円	事業費	千円
	県からの財政支出金	千円	管理費	千円
	市町村からの財政支出金	千円	人件費	千円
	委託料・指定管理料	千円	その他 ()	千円
	補助金	千円	総計	千円
	その他	千円		
その他 ()	千円			
総計	千円	収支差	千円	

特記事項	負債総額: 円 資本総額: 円 利益剰余金(もしくは欠損金): 円		
財務諸表URL			